

簡易更新機グレートプレーンを使用した ペレニアルライグラス「夏ごしペレ」の不耕起播種実証展示

三戸牧野組合の放牧地



実施区 三戸牧野組合(三戸町貝守)
成牛54頭,育成牛1頭,子牛2頭,合計57頭

ほ場形態 約5ha (うち1haを実証展示)
1番草を採草・2番草以降を放牧利用

協力機関 青森県三八地域県民局

更新後数年経過したことから、草地の植生が悪化し改善したいという依頼を受けました。

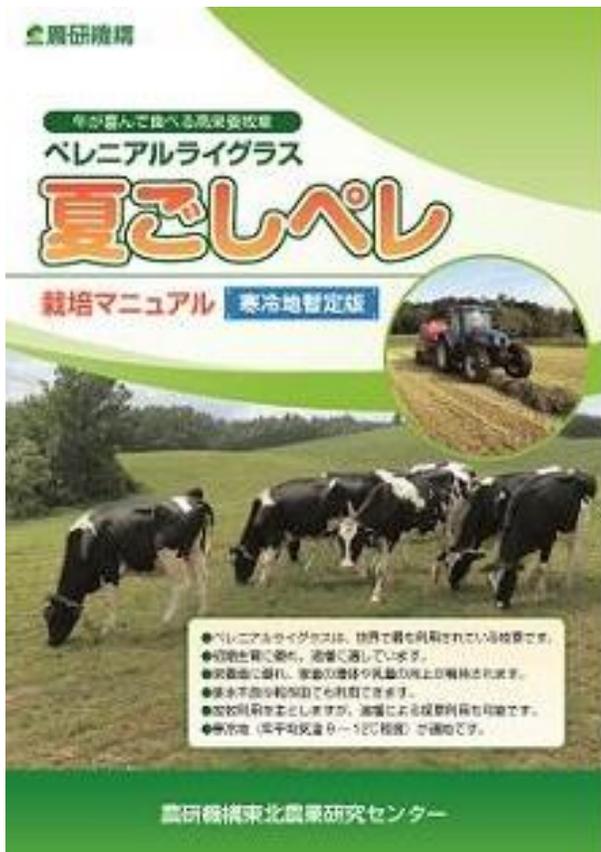
既存ほ場の植生について調査し、以下の2点を確認しました。

- ・オーチャードグラス優先
- ・裸地の割合が大きくなっている

現在の植生(オーチャードグラス)を生かしながら生産性の向上を目指し簡易更新機を用いて、不耕起でペレニアルライグラス「夏ごしペレ」を追播することとなりました。



令和3年8月20日 追播前の2番草の生育状況



ペレニアルライグラス「夏ごしペレ」の特徴

- 農研機構東北農業研究センター育成
- 初期生育に優れ追播に適している
- 排水不良な転作田でも利用可能
- 高い栄養価と収量性
- 寒冷地(年平均気温9~12°C程度)が適地

農研機構のHPに、「ペレニアルライグラス夏ごしペレ栽培マニュアル」が公開されています。

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/134486.html



平成29年9月4日
奥羽牧場放牧地での追播の様子

【参考】

奥羽牧場においても、平成29年9月放牧地にペレニアルライグラス「夏ごしペレ」を追播しました。

比較として追播したオーチャードグラスよりも初期生育がよく雑草を抑制しました。

また、比較として追播したオーチャードグラスやフェストロリウムよりも乾物収量は高くなりました(播種後1年目の結果)。

令和3年9月17日 播種作業

大型トラックで作業機を運搬します



ペレニアルライグラス
「夏ごしペレ」
播種量 3kg/10a



簡易更新機:グレートプレーン1005NT
作業幅:305cm
条間・条数:18cm×16条



播種前の作業として…

2番草の草丈が長くなってしまったため播種前日までに草地管理者で収穫をしました。

表層をコールターで切り溝を作って、その中に種子を落としていきます。播種時に鎮圧まで実施できるため、処理速度が速く、傾斜のある地形でも作業が容易です。

播種後の経過観察

コールターで切断したすじ状に発芽している様子が観察されました。

初期生育が非常に良いため、既存のオーチャードグラスや雑草に負けることなく発芽し生育している状況です。

播種後1週間経過



令和3年9月24日撮影

初期生育は良好で草丈は3～5cm程度。

播種後に土壌PH改善のための土壌改良資材である炭カルを草地管理者で散布しました。

播種後3週間経過



令和3年10月11日撮影

草丈は10～15cm

霜が降りる前までに、ある程度の草丈まで生育すると越冬後も安心です。

播種後8週間経過



令和3年11月10日撮影

次回は越冬後の状況調査や収量等の確認をする予定です。